

OSS開発者を 増やしたい！

須藤功平
クリアコード

Speee Cafe Meetup #02
2016-09-01

ここでいうOSS開発

- ✓ 1から独自で開発だけでなく
- ✓ 既存OSSの開発も含む
 - ✓ 例：要望提案
 - ✓ 例：バグレポート
 - ✓ 例：pull request

OSSを開発する動機

人それぞれ

動機例

- ✓ 反応が欲しい・注目されたい
- ✓ 転職活動で使える材料が欲しい
- ✓ 技術力向上
- ✓ ○○機能が欲しい
- ✓ コミュニティーで活動したい
- ✓ 使っただけじゃ申し訳ない

OSSを開発する動機

- ✓ 独りよがりがいい
 - ✓ 他人の損得は気にしなくていい
 - ✓ **自分**が割に合うと思うか？がいい

利用OSSにバグがあった！

どうする？

昨日の実例：Vagrant

CentOS 5のVMにsshできない…

```
% vagrant up centos-5-i386
...
centos-5-i386: Key inserted! Disconnecting ...
centos-5-i386: Warning: Authentication failure. Retrying...
centos-5-i386: Warning: Authentication failure. Retrying...
...
```

PGroongaのRPMをビルドしようとしていた

利用OSSにバグがあった！

✓ どうする？

a. とりあえずツイート？

b. ググる？

c. 最新バージョンを確認？

d. 違うOSSに乗り換え？

私の場合

よく使っているOSSの場合は…

- ✓ 調べて
- ✓ 直して
- ✓ 報告

ググった

<http://qiita.com/cock1doodledoo/items/b32382776f76fb2d627c>

少し違う現象っぽいけど ↓ で直ると書いている

```
config.ssh.insert_key = false
```

回避策っぽい…調べよう

調べて

パスワードではログインできた

```
% vagrant ssh centos-5-i386
vagrant@127.0.0.1's password: (vagrant)
[vagrant@localhost ~]$
```

調べて...

ログを確認

```
[vagrant@localhost ~]$ sudo less /var/log/secure
...
... sshd[3750]: Authentication refused: bad ownership
  or modes for file /home/vagrant/.ssh/authorized_keys
...
```

調べて……

パーミッションを直すと
公開鍵でログインできた

```
[vagrant@localhost ~]$ chmod go-rwx ~/.ssh/authorized_keys  
[vagrant@localhost ~]$ exit  
% vagrant ssh centos-5-i386  
[vagrant@localhost ~]$
```

調べて.....

authorized_keysでgrep

```
% grep authorized_keys /usr/share/vagrant
.../plugins/guests/bsd/cap/public_key.rb:...
...
.../plugins/guests/linux/cap/public_key.rb:...
...
.../plugins/guests/solaris/...
...
.../plugins/guests/solaris11/...
```

調べて.....

GNU/Linuxなので ↓ を確認

```
.../plugins/guests/linux/cap/public_key.rb
```

chmod忘れを発見

直して

```
--- .../linux/cap/public_key.rb.orig    ...
+++ .../linux/cap/public_key.rb ...
@@ -54,6 +54,7 @@
     if test -f ~/.ssh/authorized_keys; then
       grep ... > ~/.ssh/authorized_keys.tmp
       mv ~/.ssh/authorized_keys{.tmp,}
+      chmod 0600 ~/.ssh/authorized_keys
     fi

     rm -f '#{remote_path}'
```


報告

✓ masterを確認

✓ https://github.com/mitchellh/vagrant/blob/master/plugins/guests/linux/cap/public_key.rb#L57

✓ 同じchmodがすでにある！

✓ 手元で修正して元の作業を継続

ふりかえり

- ✓ 最初から最新バージョンを確認すればよかった？
- ✓ 今回は調べた方でよかったかも
- ✓ 10分位だしVagrantの事がわかったし
(最新バージョンの用意は手間だった)
- ✓ ↑ **自分**が割りに合ったか基準

なぜ報告するのか

- ✓ 自分が何度も回避するのが面倒
 - ✓ ↑ **自分**が割に合うか基準
 - ✓ よく使うOSSなら違うマシンでも遭遇しやすい

類似の事例

- ✓ mrubyがクラッシュするので修正
 - ✓ #2732, #2867, #3087, #3090, #3129
 - ✓ **自分**がパッチを管理するのが面倒
- ✓ PostgreSQL 9.6beta1の
DROP ACCESS METHOD IF EXISTS
が動かないので修正
 - ✓ 本体で直らないと**自分**の実装が手間

OSSを開発する動機

- ✓ 独りよがりがいい
- ✓ **自分**が割に合うならやるといい
- ✓ OSSを開発する敷居が高いと
なかなか割に合わない！

OSS Gate

OSS開発の 敷居を下げる 取り組み

Gate == 門

境界にあるもの

扱う境界

OSS開発

活発



自信ない



参加者

未参加者

興味あり



興味なし



ターゲット

OSS開発

活発



自信ない



参加者

未参加者

興味あり



興味なし



やりたいこと

OSS開発

活発



自信ない



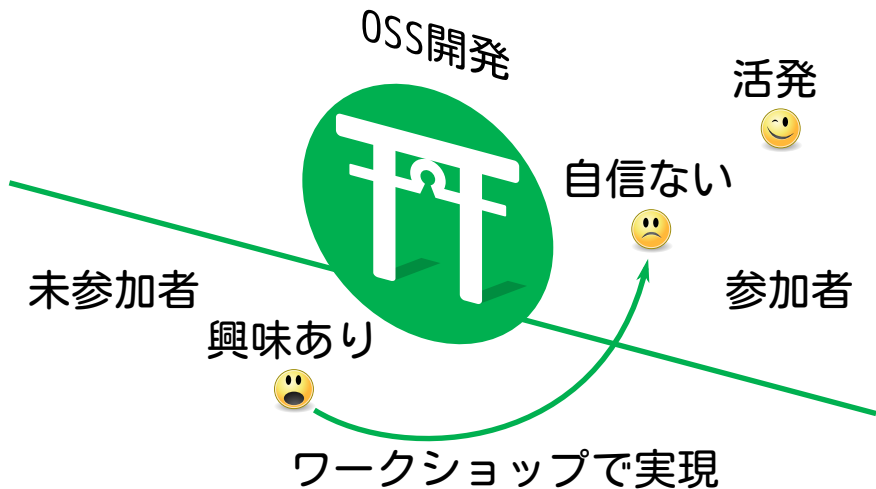
参加者

未参加者

興味あり



未参加者→参加者



ワークショップの内容

- ✓ 未参加者の後押し
 - ✓ すでに興味はある！
- ✓ どう後押しせば…？

未参加の理由？

1. やり方がわからない
- 2.なんとなく不安

ワークショップの内容

1. やり方を1つ教える
 - ✓ やり方がわかると参加できる！
2. OSSの開発に実際に参加する
 - ✓ 不安なのは**未経験**だから
 - ✓ ワークショップで経験しよう！

門をくぐる

OSS開発

活発



自信ない



参加者

未参加者



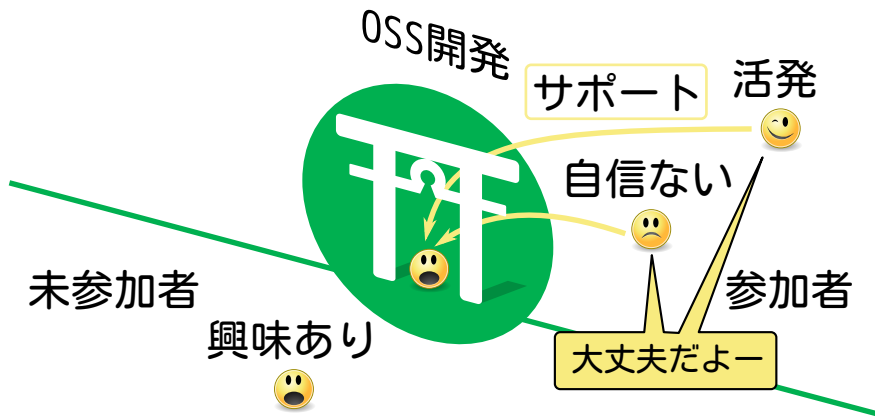
なんか不安だな…

くぐってしまえば
別になんてことはなかった！

興味あり



よりくぐりやすく



募集中！

募集中！

OSS開発

活発



自信ない



未参加者

参加者

興味あり



OSS Gateワークショップ

- ✓ ターゲット：未参加者→参加者
- ✓ 奇数月の最終土曜に開催中！
 - ✓ 次回9/24
 - ✓ 次々回11/26

`oss-gate.doorkeeper.jp`

組織としてOSS開発

- ✓ 個人
 - ✓ 自分が割に合うと思うときに開発
- ✓ 組織
 - ✓ 「OSS開発する方針だからやろう」？

組織とOSS開発

多くの組織にとって

OSS開発は
目的でなく手段

組織としてOSS開発する動機

OSSを開発する結果として…

- ✓ 技術力アップ
 - ✓ 開発効率アップ
 - ✓ 知名度アップ
- ↑ こっちが目的

技術力アップ

- ✓ 既存OSSの開発
 - ✓ 社外のコード・やり方から学ぶ
- ✓ 新規OSSの開発
 - ✓ 1ソフトウェアのすべてを経験できる
 - ✓ 設計判断・告知・ユーザー対応…
 - ✓ 経験から得られるものはたくさん
 - ✓ 社内で不足している機会を提供

開発効率アップ

- ✓ 独自修正の管理より
開発元に修正を提供
- ✓ アップデートの難易度を下げる
- ✓ メンテナンスするものを減らす

OSSを開発
(開発元に修正を提供)
する方が割に合う

知名度アップ

- ✓ 技術者に技術でアピールできる
 - ✓ 「あの〇〇さんがいる会社」
 - ✓ 「〇〇が得意な会社」
 - ✓ 求心力アップ・広告効果

組織としてOSS開発する動機

OSSを開発する結果として…

- ✓ 技術力アップ
 - ✓ 開発効率アップ
 - ✓ 知名度アップ
- ↑ こっちが目的

組織としてOSS開発

✓ ×

✓ 「OSS開発する方針だからやろう！」

✓ ○

✓ 「このケースは○○だからOSS開発は
あなたの割に合うんじゃない？」

✓ 例：Railsの独自修正を抱えるよりも開発元に
提供した方が**あなた**が開発しやすくなるんじ
ゃない？組織はそのための時間を確保する
よ。

OSS開発支援

- ① 自社エンジニアの技術力を高めたい
- ① OSSを利用した製品・サービスの開発効率を高めたい
- ① 自社の技術力を技術者層にアピールしたい
- ① 野生の優秀なエンジニアに注目してもらいたい

貴社のOSS活動を、OSSコミュニティでの活動経験豊富なOSS開発者が手伝います。

- ✓ 企業向けサポート
- ✓ Speeeさんにも提供中

OSS開発支援 サービス

ClearCode

株式会社クリアコード
www.clear-code.com

- ✓ 研修セミナー実施
 - ✓ バグ報告内容、プルリクエストのレビュー
 - ✓ 自社製 OSS の開発への参加
- ほか、様々な場面でOSS活動を支援します。



お問い合わせ先：<http://www.clear-code.com/contact/>